

令和5年度

第2回岩見沢市地域公共交通活性化協議会 資料

令和6年1月19日

岩見沢市企画財政部企画室

報告事項（１）

中央バスの減便及び東部丘陵線のダイヤ変更について

報告事項（１）中央バスの減便及び東部丘陵線のダイヤ変更について①

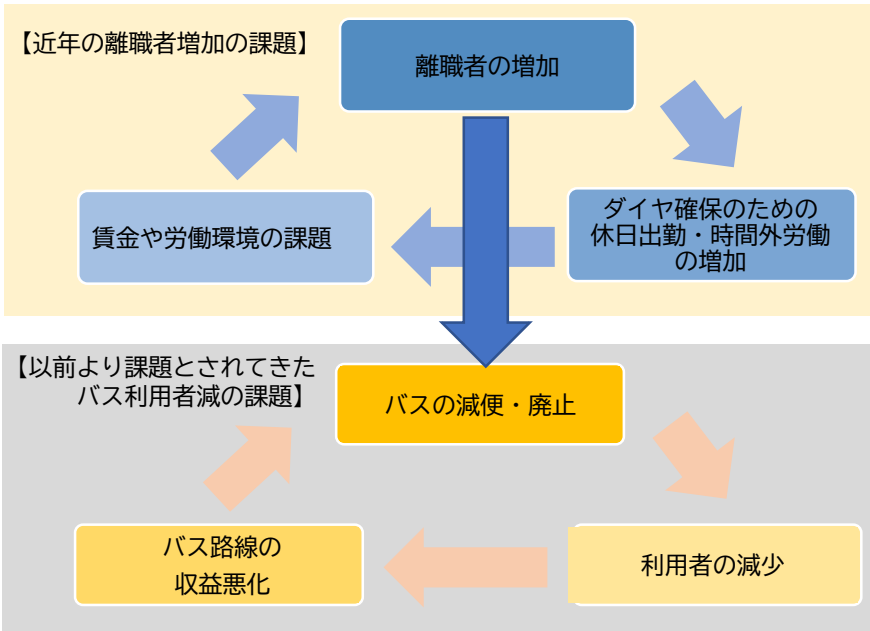
●中央バスの減便について

コロナの影響等により乗務員の離職が進み、乗務員等の担い手不足が大きな課題となっているほか、令和6年4月から施行される運転者の労働時間等の改善のための基準の改正に向けて、運行体制の最適化を図るため、令和5年12月1日から利用頻度の低い便について減便を行った。

※「自動車運転者の労働時間等の改善のための基準」（厚生労働大臣告示）
運転者の長時間労働の改善や健康確保の観点から、拘束時間の上限や休息期間等の基準が以下の通り改正され、R6.4.1より施行される。

	現行	見直し後
1年の拘束時間	3,380時間	原則3,300時間
4週平均1周／1か月の拘束時間	【4週平均1週間の拘束時間】 原則：65時間 最大：71.5時間	【1か月の拘束時間】 原則：281時間 最大：294時間
1日の休息時間	継続：8時間	継続11時間を基本とし、9時間下限

※バス事業者を取り巻く2層構造の課題



【市内線】

※乗降者数は中央バス乗降調査結果（R5.7実施）

路線	系統	運行便数 (減便前)	運行便数 (減便後)	減回数	乗降者数	備考
かえで団地循環線	国道先回り	11便	10便	1便	14.3人	土日祝を含む
かえで団地循環線	東高先回り	12便	11便	1便	12.3人	土日祝を含む
南町春日循環線	市役所先回り	9便	8便	1便	8.3人	土日祝を含む
鉄北循環線	鉄北先回り	7便	6便	1便	10.3人	土日祝を含む
いわみざわ公園線		9往復	8往復	1往復	6.3人	

【郊外線】

※乗降者数は中央バス乗降調査結果（R5.7実施） 複数の便を対象とするため最大値を掲載

路線	運行便数 (減便前)	運行便数 (減便後)	減回数	乗降者数	備考
岩見沢栗山・由仁・長沼線（岩夕発）	18便	15便	3便	22.7人	
岩見沢栗山・由仁・長沼線（岩夕着）	17便	15便	2便	10.3人	

報告事項（１）中央バスの減便及び東部丘陵線のダイヤ変更について②

●東部丘陵線の月別利用者数について ※R5年度（R5.4～12） 利用実績

4月		5月		6月		7月		8月		9月	
利用者数	817	利用者数	978	利用者数	985	利用者数	798	利用者数	858	利用者数	916
平日日数	20	平日日数	20	平日日数	22	平日日数	20	平日日数	22	平日日数	20
土日祝日数	10	土日祝日数	11	土日祝日数	8	土日祝日数	11	土日祝日数	9	土日祝日数	10
平日平均	31.8	平日平均	37.0	平日平均	38.0	平日平均	29.7	平日平均	30.7	平日平均	33.0
土日祝平均	18.1	土日祝平均	21.6	土日祝平均	18.6	土日祝平均	18.6	土日祝平均	20.2	土日祝平均	25.6

10月		11月		12月		4-12月計	
利用者数	890	利用者数	739	利用者数	739	利用者数	7,720
平日日数	21	平日日数	20	平日日数	21	平日日数	186
土日祝日数	10	土日祝日数	10	土日祝日数	10	土日祝日数	89
平日平均	32.8	平日平均	31.0	平日平均	28.2	平日平均	32.5
土日祝平均	20.2	土日祝平均	12.0	土日祝平均	14.6	土日祝平均	18.8

※R4年度（4～12月）との比較】（人）

	R4年度 (4-12月)	R5年度 (4-12月)	増減
利用者数	9,502	7,720	-1,782
平日平均	40.4	32.5	-7.9
土日祝日平均	23.1	18.8	-4.3

●東部丘陵線乗降場所別利用者数について ※R5年度（R5.4～12） 利用実績

往路	1便(6:50)		2便(9:10)		3便(11:45)		4便(15:20)		5便(17:52)		乗車計	降車計
	乗車	降車	乗車	降車	乗車	降車	乗車	降車	乗車	降車		
万字バス待合所			7		9		15				31	
万字寿回転所	4		79	1	27	1	1		4		115	2
万字交通センター	1		12	4	2	3					15	7
巴公団前			5	2	1		1				7	2
大平			1				1		1		3	
東毛陽				1			1				1	1
毛陽交流センター			3	4	6		5				14	4
メーブルロッジ前	2		25		7	2	85		37		156	2
滝の上			10		4	1	2		2		18	1
錦町	5		5	33	9	11	18	1	7	2	44	47
栗沢工芸館				1	1						1	1
美流渡桜町			61		63	5					124	5
美流渡交通センター	103		492	44	263	26	91	1	42		991	71
美流渡本町	24		26		23	6	1		2		76	6
美流渡西町中央	167		68	1	40	7	11		8		294	8
美流渡一の沢	7		17	1	114	22	2				140	23
朝日サービスセンター	35		497	4	97	17	39	1	5		673	22
宮村東	21		54	1	4	1	1		1		81	2
新宮村橋			21		49	2	5				75	2
宮村	145		5		8				1		159	
城宝前	114		5	1	3		3		4		129	1
秋の山スキー場	11	6	138	21	111	14	22	14	1	5	283	60
上志文中央	16		48	1	24	3	5	3	1		94	7
高德寺	45		90		55	4	119	1	3		312	5
旧渡船場	92		39		34	1	13		1		179	1
ローズパークゴルフ場			2		29	2	2				33	2
いわみざわ公園				17		2		3		1		23
教大前		228		40		40	55		2		365	
陸上競技場前		22		2		25	1		1		51	
市役所		62		50		16	4		2		134	
スポーツセンター前		147		5		5	4				161	
市立病院通		15		101		32	21		7		176	
4条西5丁目		60		769		569	87		23		1,508	
岩見沢駅		252		606		166	247		77		1,348	
往路計	792	79	1,710	1,710	983	983	443	443	120	120	4,048	4,048

往路（万字→岩見沢駅）は、2便の利用が多い

復路計	1便(7:53)		2便(10:35)		3便(14:10)		4便(16:50)		5便(19:10)		乗車計	降車計
	乗車	降車	乗車	降車	乗車	降車	乗車	降車	乗車	降車		
岩見沢駅	130		352		1271		648		285		2,686	
4条西5丁目	18		29		132		94		3		276	
市立病院通	8		8		5		46		16		83	
スポーツセンター前			2		2		47		4		55	
市役所			4		9		136		4		153	
陸上競技場前	52				1		9		1		63	
教大前	127		8		16		22		13		186	
いわみざわ公園	1		1		4		11		3		20	
ローズパークゴルフ場		52		4			6		1		63	
旧渡船場		12		8	2	59		135		27	2	241
高德寺		181		86		83	1	33		2	1	385
上志文中央			6	5		33		20		21	6	79
秋の山スキー場	8	4	26	9	2	115		109		12	36	249
城宝前		1	1	1		1		12		1	1	16
宮村		1		2		7		31		31		72
新宮村橋						30		95		10		135
宮村東	1	1		1		52		25		2	1	81
朝日サービスセンター	3	1	1	53		304		212		8	4	578
美流渡一の沢	12	7	12	2		14		70		82	24	175
美流渡西町中央		3		17		73		22		13		128
美流渡本町		19		38		270		93		69		489
美流渡交通センター	6	42	12	69	1	200		127		35	19	473
美流渡桜町			1	22		83		9		4	1	118
栗沢工芸館				35								35
錦町		14	11	11	7	3	8	2		2	26	32
滝の上				1		11		1		2		15
メーブルロッジ前		6		78		58		11		5		158
毛陽交流センター			2	5		1				2	2	8
東毛陽												
大平					4						4	
巴公団前	1	3		5	8						9	8
万字交通センター			4	2		13					4	15
万字寿回転所	4	2	5	16	1	46		9			10	73
万字バス待合所		22		16		9						46
復路計	371	371	485	485	1,465	1,465	1,022	1,022	329	329	3,672	3,672

復路（岩見沢駅→万字）は、3便、4便の利用が多い

報告事項（１）中央バスの減便及び東部丘陵線のダイヤ変更について③

●東部丘陵線ダイヤの変更について（R5.12.1 改正）

前回のダイヤ改正（R4.12）では、冬季間における天候や道路状況等を考慮しダイヤ調整したが、昨季の運行実績から運行時間が想定より要しなかったことのほか、各停留所における利用者の乗降に要する時間や地域のニーズ等を踏まえ、令和5年12月1日よりダイヤを改正。

【万字バス待合所↓岩見沢駅】

主な停留所	1便	2便	3便	4便	5便
万字バス待合所	-	9:10	11:45	15:20	-
万字寿回転所	6:50	9:15	11:50	15:25	17:52
毛陽交流センター	6:57	9:22	11:57	15:32	17:59
栗沢工芸館	-	9:29	12:04	-	-
美流渡交通センター	7:02	9:31	12:06	15:37	18:04
市役所前	7:37	10:06	12:41	16:12	18:35
岩見沢駅	7:50	10:20	12:55	16:26	18:49
運行所要時間	1:00	1:10	1:10	1:06	0:57



主な停留所	1便	2便	3便	4便	5便
万字バス待合所	-	9:05	11:25	15:10	-
万字寿回転所	7:00	9:09	11:29	15:14	18:00
毛陽交流センター	7:06	9:15	11:35	16:20	18:06
栗沢工芸館	-	9:22	11:42	-	-
美流渡交通センター	7:10	9:25	11:45	15:24	18:10
市役所前	7:36	9:51	12:11	15:50	18:36
岩見沢駅	7:42	9:57	12:17	15:56	18:42
運行所要時間	0:42	1:02	1:02	0:46	0:42

赤字：土日祝・12/29～1/3は運休となる便

【岩見沢駅↓万字バス待合所】

主な停留所	1便	2便	3便	4便	5便
岩見沢駅	7:53	10:35	14:10	16:50	19:10
市役所前	-	10:44	14:19	16:59	19:19
美流渡交通センター	8:36	11:20	14:55	17:35	19:55
栗沢工芸館	-	11:24	14:59	-	-
毛陽交流センター	8:45	11:33	15:08	17:42	20:02
万字寿回転所	8:52	11:40	15:15	17:49	-
万字バス待合所	8:55	11:43	15:18	-	-
運行所要時間	1:02	1:08	1:08	0:59	0:52



主な停留所	1便	2便	3便	4便	5便
岩見沢駅	7:55	10:15	14:00	17:00	19:10
市役所前	-	10:20	14:05	17:05	19:15
美流渡交通センター	8:25	10:46	14:31	17:31	19:41
栗沢工芸館	-	10:49	14:34	-	-
毛陽交流センター	8:28	10:55	14:40	17:34	19:44
万字寿回転所	8:34	11:01	14:46	17:40	-
万字バス待合所	8:38	11:05	14:50	-	-
運行所要時間	0:43	0:50	0:50	0:40	0:34

赤字：土日祝・12/29～1/3は運休となる便

報告事項（２）

公共交通の利用促進に向けた取組みについて

報告事項（2）公共交通の利用促進に向けた取り組みについて①

●バスの日特別企画「バスの絵募集キャンペーン」の実施について

市内を運行するバスの利用促進に係る取組みの一環として「バスの絵募集キャンペーン」を実施し、岩見沢市内の小学生を対象にバスの絵を募集しました。応募された作品は、9月20日のバスの日にあわせて、市内路線バス車内に展示しました。

- 【募集期間】 令和5年7月24日（月）～9月8日（金）
- 【応募作品数】 248点 ※前回（昨年度）は385点
- 【作品の展示】 展示①：中央バス車両展示
10月2日（月）から10月31日（月）までの間、市内を運行する路線バス車両内（40台程度）に展示
展示②：有明交流プラザ「センターホール」
令和6年1月13日（土）から1月21日（日）までの間、展示予定



【車内展示の様子】



【応募作品】

●乗務員確保の取組みを含めた利用促進

(1) 魅力再発見！お薦め「SCENE」コンテスト ～バスの車窓から～

バス乗務員がお薦めする四季折々の風景等を募集・表彰し、乗車中の楽しみ方や路線の魅力発見の機会を市民に発信することで利用促進を図るとともに、乗務員の仕事や魅力等を情報発信を予定。

- 【募集作品】 乗客が車窓から見ることができる自然や風景、人物、動物、空間など
- 【募集期間】 令和5年11月13日（月）～令和6年10月31日（月）
※四季折々、バラエティーに富んだ作品募集に向け、3期に分け募集・表彰する。
 - 第1期 【車窓から見る秋の風景】 R5. 11. 13～12. 15
 - 【車窓から見る冬の風景】 R5. 12. 15～R6. 2. 20
 - 第2期 【車窓から見る春の風景】 R6. 3. 21～5. 31
 - 第3期 【車窓から見る夏の風景】 R6. 6. 1～8. 31
 - 【車窓から見る秋の風景】 R6. 9. 1～10. 31

(2) 広報誌による情報発信

公共交通をより身近に感じてもらうため、バスとタクシーの乗務員の方に、インタビューし、仕事の魅力ややりがいなどを、広報9月号で発信しました。



報告事項（２）公共交通の利用促進に向けた取り組みについて②

●北海道周遊列車「HOKKAIDO LOVE!ひとめぐり号」企画への参加

北海道を周遊する観光列車「HOKKAIDO LOVE!ひとめぐり号」の岩見沢駅停車にあたり、ＪＲ北海道や岩見沢市観光協会と連携し、鉄道の利用促進と岩見沢市の観光や特産品などのＰＲのため、岩見沢駅における出迎え・見送りのほか、車内で特産品の販売を実施しました。

実施日	参加人数	実施内容
１０月　２日（月）	１３６名	駅ホームでの物販、出迎え・見送り
１０月　９日（月）	１４６名	〃
１０月１６日（月）	１６４名	車内販売（滝川～岩見沢）、見送り



【特産品販売（岩見沢駅）の様子】



【特産品販売（列車内）の様子】

●鉄道フェスティバルの出席(JR室蘭線活性化連絡協議会事業)

鉄道の日である１０月１４日「鉄道の日」にちなんで、鉄道の役割について、国民の理解と関心を深めることを目的に開催される「鉄道フェスティバル」に協議会として出展し、室蘭線の特産品販売やPR活動を実施し、室蘭線の魅力を発信しました。

- 【開催期日】 令和５年９月２３日（土）　１０時００分～１７時００分
- 【会　場】 札幌市北3条広場アカプラ
（札幌市中央区北2条西4丁目及び北3条西4丁目）
- 【来場者数】 約５,５００人
- 【出展内容】 ①沿線特産品や鉄道グッズの販売
②PR写真やパネルの展示
③室蘭線調査・実証事業に係る「ご当地カードラリー」等のPRパンフの配付



【沿線PRポスター】



【出展ブースの様子】

報告事項（２）公共交通の利用促進に向けた取り組みについて③

●公共交通体験学習事業の実施(南空知圏域広域加速化事業)

南空知圏域9市町（岩見沢、夕張、三笠、美唄、月形、栗山、由仁、南幌、長沼）の交通担当で構成する地域公共交通部会【事務局：岩見沢市】において、管内小学校に在籍する1～3年生及び保育園等に在園の年長児を対象に、公共交通に対する理解や親しみを持ってもらうため、交通事業者と連携し、学習会と乗車体験の取り組みを実施しました。

【実施期間】 令和5年7月10日～10月31日
【協力事業者】 北海道中央バス（岩見沢営業所）、JR北海道（地域交通改革部）



【乗車体験の様子】



【交通事業者からのお話】

実施日	協力事業者	開催場所	事業内容	参加者
8月10日（木）	JR北海道	岩見沢市立鉄北児童館	・列車の乗り方について （JR室蘭線の概要、列車内のマナーについて） ・体験乗車（岩見沢駅→栗沢駅）	放課後児童クラブ 登録児童 【小2・3年】29人

※岩見沢市のほか、南幌町、三笠市、月形町、由仁町、美唄市及び夕張市において、計252名の児童を対象に実施。

●公共交通を利用した周遊モデルコースの発信(南空知圏域広域加速化事業)

南空知9市町の鉄道やバス、タクシー等の利用促進を図るため、公共交通機関と周遊スポット等のモデルコースを掲載したパンフレット「南そらち9市町日帰りさんぽ」を作成し、札幌圏及び南空知圏域で配付しました。

札幌圏域	バスターミナル（北海道中央バス、ジェイ・アール北海道バス、夕鉄バス）、JR北海道札幌周辺主要35駅	6,600部
南空知圏域	南空知9市町の駅舎及び交通事業者、観光施設、公共施設等、北海道中央バス岩見沢営業所	3,400部



報告事項（３）

J R 室蘭線調査・実証事業の取組みについて
（JR室蘭線活性化連絡協議会事業）

●調査・実証事業の概要

JR北海道では、輸送密度200人以上2,000人未満の黄線区において、地域と一体となって推進するアクションプラン(R1～R5)に基づき、「総合的な検証」と「事業の抜本的な改善方策の検討」に資するための取組として、令和5年度に改善方策を調査・検証するための調査・実証事業を実施する。（黄線区には、室蘭線のほか、日高線、富良野線、宗谷線、石北線、根室線、釧網線、花咲線の計8線区が該当）。



各沿線の協議会にJR北海道が委員として参画し、国や道の補助事業を活用しながら事業を展開する必要がある。

【JR室蘭線の取組み】

- 実施主体
JR室蘭線活性化連絡協議会
- 事業概要
室蘭線を通学や通院等の日常生活で利用している沿線住民を対象に、並行するバス路線も含めた地域の公共交通全体の維持・利便性向上を図るため、以下の調査事業及び実証事業を実施する。

(1)調査事業

- ①公共交通の利用実態・意向調査
 - ・沿線住民の公共交通の利用実態・意向の調査
 - ・鉄道・バス共通時刻表の制作・配布をあわせて実施

(2)実証事業

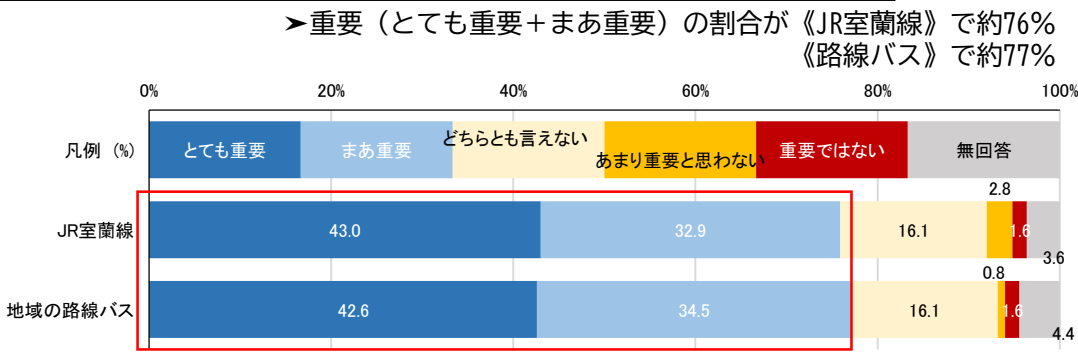
- ②室蘭線・日高線連携観光による鉄道利用促進
 - ・カードラリーにより観光への付加価値を高め、バス連携による回遊性向上と札幌圏からの誘客により鉄道利用促進の可能性を探る
- ③モーダルミックスによる鉄道利用促進
 - ・JR定期券利用者を対象に沿線のバスに無料で乗車可能とし、公共交通全体で沿線住民のフリークエンシー向上による利用拡大の可能性を探る。

●調査・実証事業の取組結果

問 JR室蘭線、路線バスはどの程度、重要だと思われますか？
【調査結果より抜粋】

(1)公共交通の利用実態・意向調査

- ・調査目的：
室蘭線沿線の公共交通（鉄道・バス）利用状況と、利用者ニーズを把握し、今後の公共交通のあり方を検討するため、室蘭線沿線5自治体において、満18歳以上の男女計800人を対象に調査を実施。
- ・配付日：8月8日（回答期限8月31日）
- ・配付数：800通
- ・回答数：253通（回収率31.6%）



(2)室蘭線・日高線連携観光による鉄道利用促進

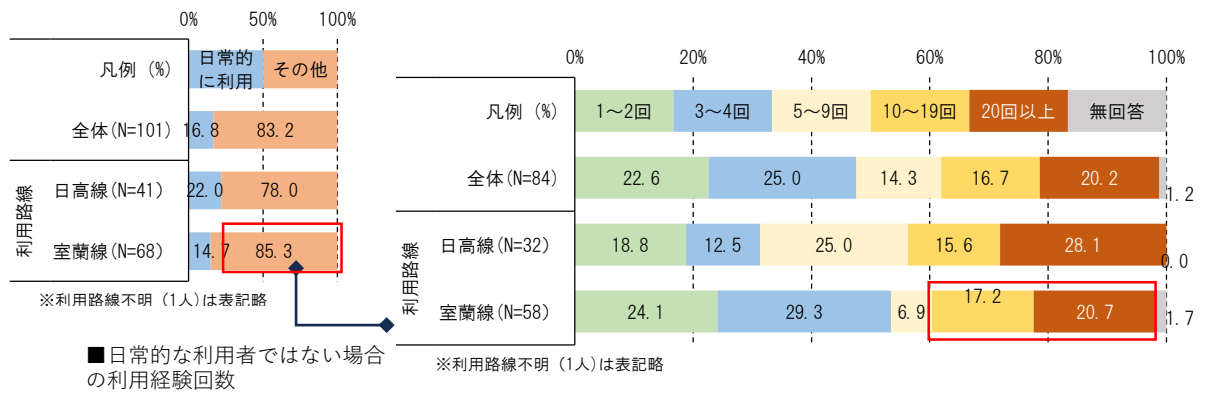
- ◇実施内容:日高線と室蘭線が連携して、カードラリーを実施することにより観光への付加価値を高めるとともに、JR北海道が札幌圏において、土日祝に発売するフリーきっぷ「一日散歩きっぷ」利用者を対象としたバスとの連携事業を実施することにより、回遊性向上と札幌圏からの誘客を図る。
- ◇対象区間:JR室蘭線(岩見沢駅～沼ノ端駅)
- ◇実施期間:7月29日(土)～9月30日(土)
- ◇連携事業者:北海道中央バス 岩見沢栗山線・岩見沢由仁線・岩見沢長沼線(岩見沢ターミナル～由仁駅前間) あつまバス 苫小牧線(苫小牧駅～早来駅前)

- ◇アンケート調査:「ご当地カードラリー事業」において、異なる3種のカードを集め、プレミアムカード引換者を対象にアンケートの協力を依頼し、観光による鉄道利用促進の可能性を探るために実施。
- ◇アンケート集約結果 63件



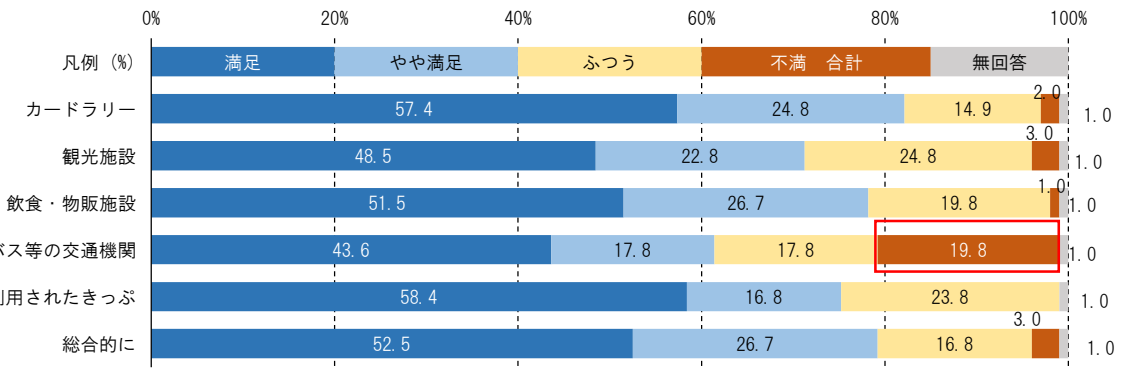
問 室蘭線をどのくらいの頻度で利用しますか？
【調査結果より抜粋】

➤参加者の85%が日常的な利用者ではなく、今回のご当地カードラリー事業による利用。過去10回以上の利用経験がある方が38%を占める。



問 カードラリー事業への参加の満足された内容は？
【調査結果より抜粋】

➤カードラリー企画や利用されたきっぷ、飲食・物販施設に関する満足度が高い一方で、列車・バス等の交通機関に関する不満割合が高く、列車運行本数の少なさや二次交通としてバスとの接続などへの不満が要因。



(3) モーダルミックスによる鉄道利用促進

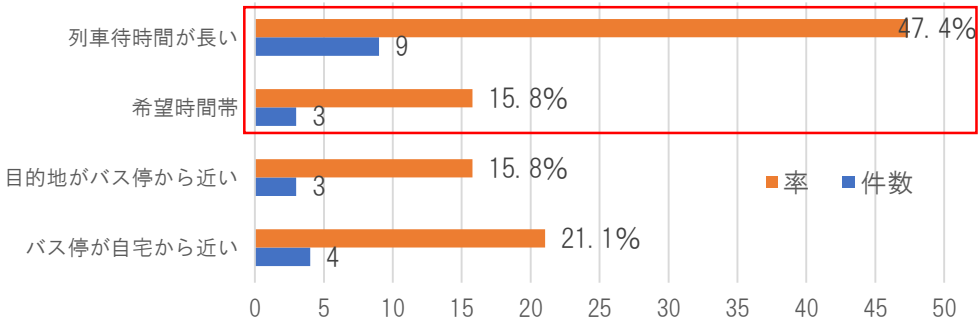
- ◇実施内容: JR定期券利用者を対象とした沿線のバスに無料で乗車可能とする取組により、公共交通サービスの利便性向上による利用促進効果の把握及び課題等の検証を実施。
- ◇対象区間: JR室蘭線(岩見沢駅～沼ノ端駅)
- ◇実施期間: 7月29日(土)～9月30日(土)
- ◇対象定期券: 「追分＝安平＝早来＝遠浅＝沼ノ端」のいずれかの駅間を含む室蘭線の通勤・通勤定期券
- ◇対象路線バス: あつまバス(苫小牧駅前～早来駅前)※上厚真経由を除く
- ◇WEBアンケート調査: モーダルミックス事業の効果検証に資するため、本取組におけるバスを利用した満足度等について、アンケート調査を実施することで、本事業の鉄道利用促進効果や利便性向上効果について検証するために実施。
- ◇アンケート集約結果: 19件



【アンケート用チラシ】

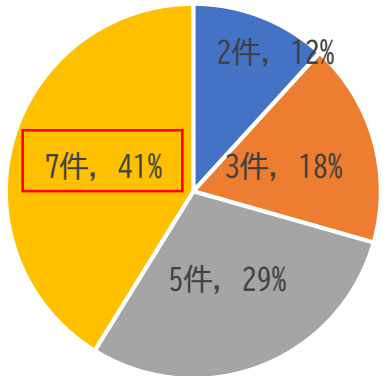
問 バスを利用された理由は何ですか？
【調査結果より抜粋】

➤利用された理由としては「列車待ち時間が長い」「希望時間帯」で約63%を占めている。



問 1枚の定期券で複数の交通機関を乗車できる仕組みで何が重要と考えますか？ 【調査結果より抜粋】

➤利用機会に応じた交通機関の選択肢や所用時間の短縮が重要との意見が多数を占めている。



- 定期券の発売額
- 今よりも快適な路線の接続
- 通勤や通学に要する時間の短縮
- 利用機会に応じた交通手段の選択の幅

協議事項（１）

地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について

１．事業評価の目的

地域公共交通確保維持改善事業は、国土交通省が実施する、地域の多様な主体の連携・協働による、地域の暮らしや産業に不可欠な交通サービスの確保・充実に向けた取組みを支援する事業です。

協議会等が、生活交通確保維持改善計画に位置付けられた補助対象事業について、事業の実施状況の確認や目標達成状況等の評価を行うことによって、補助対象事業がより効果的及び効率的に推進されることを目的とします。

国庫補助を受けた（受ける予定の）事業については、協議会において事業の実施状況を確認・評価し、市のホームページ等で公表するとともに、国土交通省北海道運輸局へ報告することとなっています。

２．当協議会における評価対象事業

① 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

幹線バス等の地域間交通ネットワークと接続し、支線として運行する地域内のバス交通等に対する支援。

（ 対象系統：かえで団地循環線、日の出台・栄町循環線、鉄北循環線、南町・春日循環線
東部丘陵線 ）

【評価対象期間】 令和4年10月1日～令和5年9月30日（R5補助年度）

3. 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金の事業評価

■事業評価

①補助対象事業者等	②事業概要 ※補助対象となる系統	③前回（又は類似事業）の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の 適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 （特記事項を含む）
北海道中央バス(株)	かえで団地循環線 日の出台・栄町循環線 鉄北循環線 南町・春日循環線	・バスを含む、市内公共交通の利用促進及び市乗務員の仕事の魅力発信を目的として、市広報誌に特集記事を掲載した。	計画通り事業 A は適切に実施 された。	3路線5系統において、ダイヤ調整や運行便数の見直し等により、運行体制の最適化を図ることができたが、コロナ等の影響により減少した利用者は、未だ回復していない状況にある。また、コロナ禍を契機に乗務員等の離職が進んでおり、運行体制の維持が厳しい状況となっている。 【市内線の利用者数】 *補助年度 ・目標値（R5）：850,000 人/年 ・実績値（R5）：563,195 人/年	・新型コロナウイルス感染症の影響による需要の減に対して、バス利用の回復と小学生等の将来の利用者確保を目指し、バスに興味を持ってもらい、利用したくなるような取組みを推進していく必要がある。
日の出交通(株)	東部丘陵線	・市内の小学校に通う児童からバスに関する絵を募集し、集まった作品をバス車内に展示する「バスの絵募集キャンペーン」を実施した。 ※応募総数：248作品	計画通り事業 A は適切に実施 された。	目標値には達していないものの、東部丘陵地域において、令和4年3月末に廃止されたバス路線の代替交通として、住民の生活上、必要不可欠な移動手段を確保することにより、通院・通学・買い物など多くの利用がある。 【東部丘陵線の目標】 *事業年度 ①利用者数 ・目標値(R5)：14,000 人 ・実績値(R5)：11,892 人 ②経常収支 ・目標値(R5)：▲11,800千円以内 ・実績値(R5)：▲17,517千円 ③自治体の本事業に対する負担額 ・目標値(R5)：9,400千円以内 ・実績値(R5)：14,338千円	・乗務員等の担い手確保については、周辺自治体も含めた共通課題として捉え、交通事業者や自治体間の連携を強化し、職場環境や仕事内容、乗務員の魅力等について、広く情報発信する取組みを行う必要がある。 ・東部丘陵線については、利用状況が初年度と比較して減少傾向にあるため、車両（2台）の効率的な運用により、燃料費や人件費等の圧縮を図る必要がある。

■地域の交通の目指す姿（事業実施の目的・必要性）

岩見沢市は、北海道の中西部に位置する空知管内の中心都市であり、人口は75,522人（令和5年12月末現在）、総面積は481.02km²で、市域の西部には平野が広がり、東部には低山性の山々が連なっている。また、札幌市と旭川市を結ぶ国道12号、高速自動車道が通っており、札幌市まで車で約45分、新千歳空港を有する千歳市まで約60分の圏域である。

他の地方都市と同じように岩見沢市においても人口減少や少子高齢化、自家用車の普及などによる路線バス利用者の減少が続いており、路線の維持確保のための市補助金の負担も増加していることから、平成27年1月に地域公共交通活性化協議会を設置し、同年4月に「岩見沢市生活交通ビジョン」、平成28年6月に「地域公共交通網形成計画」、平成29年6月には「地域公共交通再編実施計画」（同年9月8日に国土交通省の認定）を策定し、平成29年10月1日に主要な生活交通手段であるバス路線（北海道中央バス（株））の見直しを行った。令和2年度末をもって「地域公共交通網形成計画」の計画期間が満了したことに伴い、新たな公共交通のマスタープランとして令和3年6月に「地域公共交通計画」を策定した。

岩見沢市の公共交通においては、札幌や旭川と結ぶJR函館本線、苫小牧と結ぶJR室蘭線、南空知の他市町につながる地域間幹線系統を幹線として、それらと接続するフィーダー系統（市内：路線型）やデマンド型乗合タクシーなどの新たな公共交通を組み合わせることで、生活交通ネットワークの構築を進めているところである。

また、令和4年4月からは、岩見沢市の東側に位置する山間地域（通称：東部丘陵地域）において運行していた中央バス万字線及び市営バス万字線の廃止に伴い、新たな生活の足として、日の出交通（株）による「東部丘陵線コミュニティバス」の運行が開始されたところである。

市民の生活上、必要不可欠な移動手段を確保するため、地域公共交通確保維持事業により、路線バス（市内線）及び東部丘陵地域を運行する路線を確保・維持することが必要となっている。

その他

(1) 自動運転 E V バスの実証実験について

●実証実験の概要

- ◆背景 人口減少・少子高齢化、人手不足
- ◆目的 新たな交通モードの展開、複合的サービス・ビジネスモデル創出
Well-Being（豊かな暮らし）の実現
- ◆実証内容
自動運転EVバスの公道走行と車両を活用したデジタルサービスの検証
 - ・市民向け一般試乗、ニーズ調査
 - ・運行管理（遠隔操作）システム、ロボットトラクター遠隔監視連携
 - ・デジタル活用～乗車予約サイト、デジタル地域通貨検証
 - ・地域MaaS（健康測定サービス等）
 - ・地産地消、自立型地域エネルギーシステム活用
- ◆実証期間 令和5年10月6日～10月20日
- ◆実証場所 ①交通密集地域（JR岩見沢駅⇔北海道教育大学岩見沢校）
②住宅地域（岩見沢市北村支所発着）

自動運転バス

試乗体験のご案内

デジタル社会の実現に向けた取り組みとして、自動運転バスの実証実験を行います。期間中は一般試乗もいたしますのでぜひ体験ください。（事前予約制）

実施期間：
10月7日（土）～10月13日（金）
※実施によっては、運行を中止する場合があります。

定 員：1便につき8名 先着順

申込受付：9月30日（土）から予約受付を開始します。

左のQRコードまたは、下記URLからご予約ください。
<https://travel.maa.jp/paramotaxi>

運行場所：JR岩見沢駅から北海道教育大学岩見沢校間のシャトル運行

時刻表

便数	JR岩見沢駅発	教育大学校
1	9:40	10:20
2	11:00	11:40
3	13:40	14:20
4	15:00	15:40
5	16:20	17:00

このほか、実証の詳細は岩見沢市のホームページをご覧ください。
<https://www.city.ikamizawa.hokkaido.jp/ikamizawa/shohin/paramotaxi/17937.html>

お問い合わせ先
北海道教育大学岩見沢校地域連携推進課 地域連携課 担当：山口、金子 電話：011-8-25-8000



乗車人数実績

区分	人数	乗車率
交通密集地域	478名	79.7%
住宅地域	123名	67.2%
計	601名	76.8%

●交通密集地域における自動運転の検証について

- ◆定時運行率 98.6%（目標値：90%）
- 【条件】 1分以上の遅延は定時運行とみなさない。
- 【遅延要因】 車両のシステムエラーによる

- ◆安定走行
 - (1) 事故件数0件（目標値：0件）
 - (2) 手動介入：運転回数40回中、14回発生（発生率35%）

(3) 手動介入理由

内容	回数	発生率
①強風による飛来物（草木枝）にセンサーが検知し、急停止する恐れがあったため	5	13%
②衛生測位システムの電波受信不足により自動運転が不可能となったため	2	5%
③衛生測位システムの電波受信不足により自動運転が不可能となり急停止することを回避するため	2	5%
④車道奏功する自転車センサーに反応し、急停止する恐れがあったため	1	3%
⑤ルート上の駐車車両の存在によりルートを迂回する必要があったため	3	8%
⑥車両不具合（スティングエラー）対応のため	1	3%